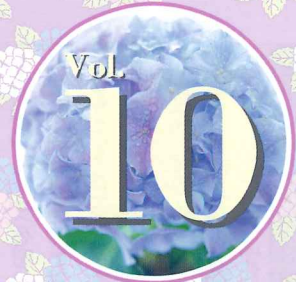


あじさい



〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel. (078) 351-0657 (代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>



社会人基礎力を高めるための取り組み

公益社団法人 神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校

副学校長 山内 美千代

昨年4月に本校が公益社団法人の認可を受けて1年が経ちます。法人の公益目的である地域医療の活性化を図り、地域の公衆衛生の向上を目指すためには民間病院看護師の人数確保が必要となります。本校は設立して一貫して民間病院の医療を担える看護実践者の育成を行い続け、昨年度は兵庫県下の医療現場に卒業生の98%を送り出しましたが、まだまだ医療現場での看護師不足は深刻な状況だと聞き及んでいます。本校は一人でも多くの看護師を医療現場に送り出すため、今年度より学生定員数を60名から70名に増員し、看護教育に取り組んでいます。

昨今、少子化問題による18歳人口の減少から、本校の新入生の内、現役卒の18歳学生は、全体の4割弱の状況がここ数年続いています。が、社会人経験者の本校への受験希望者数も多く、今年度の入学試験合格率は6.3倍と、ここ数年6倍以上をキープしています。受験倍率が高いことにより、質の高い看護学生の確保が出来ていると自負しています。

平成18年に経済産業省が職場や地域社会で多様な人々と仕事をするために必要な基礎的

な力として定義付けた「社会人基礎力」の3つの能力（前に踏み出す力・考える力・チームで働く力）は、本校の教育理念に掲げている「自ら感じ・考え・行動できる専門職業人の育成」に通じる能力で、看護実践者には必要な能力です。地域に根ざす看護実践者の育成を行っている本校として、この「社会人基礎力」を高める教育が必要と考えています。それに向け、今年度より教育指導体制を変更しました。今までの学年担任制を廃止し、1〜3学年の縦割りグループ（1グループ23〜26名）に専任教員1名で構成した「学生自立型ピア・サポートシステム」と称したシステムを導入しました。同じ校内で勉学を共にしている学生同士が学年を超えて学習・生活面についてサポートしあうシステムです。このサポートシステムを通し、学年を超えた人間関係を形成することで、卒業後のネットワーク作りにも役立つと考えています。この「学生自立型ピア・サポートシステム」確立に向け、職員一同学生支援を続けていく所存です。

平成26年度 入学式

平成26年4月3日(木) 本校8階講堂にて12期生70名の新入生を迎え、入学式が執り行われました。





入学して



1年1組
小島 紹子

私は、入学当初友達はできるだろうか、勉強についていけるだろうかと不安でいっぱいでした。12期生は年齢や社会経験も様々で私は今までにない刺激やパワーを感じています。看護師の礎となる3年間は始まったばかりです。毎日を大切に後悔することのないように努力してまいります。



1年2組
水野 悠介

私は入学時、年齢差と男性であることにとっても不安を感じていました。「自分には家族をケアするために看護師になるという目標と学ぶための強い意志がある」だから「3年間1人でも何とかなる」と少し強がっていました。そんな僕でもクラスメイトは笑顔で接してくれました。今では仲間のために少しでも力になりたい、3年後全員で卒業して看護師になりたいと強く感じています。

新入生間での自己紹介

各自が作成していたパーソナルポートフォリオを用いて、一人ずつ自己紹介を行いました。

自分の好きなことや頑張ってきたこと、趣味で続けていることなどそれぞれ多彩で興味深いものでした。まだ名前も知らない仲間達

年齢層も幅広く経験もいろいろですが、

みんなの自己紹介を機に

打ち解けられる

第一歩となりました。

専任教員

児島 百合枝

就職説明会



平成26年4月7日に、会員病院から奨学資金を受けていない学生、凡そ120名(新入生70名と2年生、3年生約50名)を対象に就職説明会を開催しました。

昨年までは、新入生を対象に入学前説明会時に本校8階講堂にて実施していましたが、今年は会員病院から奨学資金を受けていない全学生を対象に兵庫中央労働センターで

開催しました。

会員病院の27施設にご参加いただき、病院毎に設けたブースを学生が順次訪問して説明を聞く形式で行いました。

学生たちは熱心に話に聞き入っており、特に新入生は、入学後に就職支援に関する説明会があったことでより積極的に話を聞くことができたようです。

今回全学年の学生を対象に実施したことについて病院側からは「満足」という声が多く聞かれ、会場も「広くゆとりがあつてよかった」という感想が聞かれました。

今後とも出来る限り学校の運営を改善していきたいと考えております。民間病院協会の皆様方には今後とも学校の運営にご協力のほどよろしくお願ひ致します。

副学校長兼教務主任 大西 安代



卒業生カムバックデイ

平成25年度
全卒業生カムバックデイ

平成26年1月25日(土)に本校8階講堂にて、3年課程1〜4期生卒業生による「全卒業生カムバックデイ」を同窓会主催で実施しました。

卒業生とその子供たち・元専任教員・専任教員併せて44名の参加がありました。近況報告とゲームでワイワイガヤガヤの90分でした。卒業後家庭を築き、子育て真っ最中でも仕事をしている仲間が多く、心強いものが有りました。

今回は1〜4期生を中心に開催しましたが、今後範囲を広げて全カムバックデイを続けられたらと考えています。この企画を行うのに、学校より卒業生の皆様に手紙を出して頂いたのですが、住所変更により多くの方が宛先不明で戻ってきました。新しい住所に移られた時には学校にも連絡していただければ、今後の同窓会行事のお誘いができると思いますのでよろしくお願ひします。

平成25年度 同窓会役員一同

今年度
卒業生カムバックデイ

平成26年5月26日(月)に本校講堂で卒業生のカムバックデイを開催しました。

昨年度の卒業生58名中、44名の卒業生が集まり、近況報告を行いました。自分の技術の未熟さに焦りを見せる卒業生もいましたが、自分だけではなく皆も悪戦苦闘しながら、業務に専念しているのを聞き、泣き笑いの中楽しい時間を過ごしました。今回は同窓会主催の全体カムバックデイでの再会を約束しての解散となりました。

専任教員 荻野 知江子

学 外 研 修



1年生2組
松下 拓也

入学後、私はみんなと仲良くなれるか不安でした。学外研修のバスの中でのおやつ交換やチーム対抗のゲーム、パーベキューを通して自然にクラスのみんなとコミュニケーションをとることができ不安が消えました。今では学校でみんなと会うことがとても楽しみになり、これからの3年間、みんなと一緒に頑張っていこうという気持ちが強くなりました。



4月11日の学外研修で、淡路島の「淡路ふれあい公園」に、1年生(12期生)70名全員で行きました。
入学して間もない時期ではありませんでしたが、野外活動委員を中心に、ゲームや、バスの座席の配置などを企画しており、12期生が交流するという目的を達成できました。同じ目標を持つ仲間として、それぞれが認識し、これからの学生生活は充実したものになりそうです。
専任教員 川東 淳子



2年生
中野 美穂

2年生は淡路島のイングラウンドの丘に行きました。コアラや菜の花畑を見たり、動物と触れ合ったりしてころが癒され楽しいひと時を送ることができました。また、昼食は淡路牛のパーベキューでクラスとして交流を深めることができ、気分転換もはかれ2年生として頑張っていきたいと思えます。
専任教員 黒田 葉子



平成26年4月11日、春の陽光の中2年生3年生は淡路ファームパークイングラウンドの丘へ学外研修に行きました。イングラウンドの丘ではパンやバター、キャンドルを作り自分の持っている感性を活かし楽しい時間を過ごしました。
4月から新学期がはじまりクラス替えもあつたなかで級友との交流をはかることができ、今後の学生生活につながることにしたいと思います。
専任教員 黒田 葉子

自立型ピア・サポート体制交流会

平成26年4月9日 今年から導入した学生自立型ピア・サポート体制の交流会を開催しました。これは、担当教員1名と1年生から3年生の23名、26名で縦割りのグループで構成されています。そのグループ間で交流を深め、お互いに支え合える関係を作っていきます。また、学生生活のなかで不安や困ったことなども相談し合ひ楽しく学べる環境を作ることがなりたいです。学生同士で解決できない場合は、担当教員がファシリテーターとしてサポートします。
交流会では、1年生は先輩に囲まれ緊張しながら自己紹介をしていきましたが、その光景を微笑ましく初心にかえったような



専任教員 三原 満代

新入生歓迎会

平成26年4月25日(金)に晴天のもと新入生歓迎会を行いました。「新入生が楽しく学校生活を送れるよう、サポートしたい」というビジョンを掲げ、「話しやすい雰囲気づくりをし、新入生の不安を解消することができる」というゴールを目指して各グループで戦略を立てました。王子動物園や北野工房、ボーリングや映画鑑賞など、グループごとに散策の場所や昼食の場所は違いましたが、学年間の交流が図れ、良い関係づくりに繋がりました。「すごく楽しかったです」「先輩がやさしく接してくれました。」と新入生が感想を述べてくれました。各グループともゴールは達成したようです。2年生の実行委員やクラス全体の協力もあり、楽しく、充実した歓迎会となりました。みなさんお疲れ様でした。
実習調整者：岩築 敦子



教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがえのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



同窓会だより

平成26年5月26日(月)、神戸看護専門学校講堂にて参加者54名のもと同窓会総会が開催されました。

平成25年度会長の土肥陽子氏より、平成25年度の活動報告を行い、その後平成26年度の役員選出および承認を行いました。

平成26年度会長として私、3年課程3期生の谷口真大が1年間会長を務めさせていただきます。この1年間で、同窓会の皆さんとの交流として何が出来るかわかりませんが、出来る限りのことをやり遂げたいと考えています。

平成26年度計画の一つとして学校へ看護技術シミュレーション教材の贈呈と、全卒業生カムバックデイ企画を総会で報告し、参加者の賛同を得ました。皆さん、同窓会企画行事に参加するのを機会に皆で集まり近況報告会等を行っていきませんか。また、なにか同窓会主催での企画で希望がありましたら副学校長まで申し出て下さい。

平成25年度より、役員任期が1年となつているので、来年度は4期生のみなさんを中心とした同窓会運営となります。

平成26年度 年間予定表

行事		行事		
4月	入学式 奨学金病院説明会 特別講演 健康診断 防火訓練 学生間交流会(全学年) 新入生歓迎会 学外研修(全学年)	9月	学生間交流会(全学年) あじさい式(宣誓式) 防災訓練 就職説明会	
	5月	卒業生カムバックディ	11月	推薦・社会人入学試験
		6月	歌舞伎鑑賞(1年生)	12月
	8月		実習指導者会議 オープンキャンパス	1月
		3月		2月
			3月	卒業証書授与式 入学前説明会 実習指導者会議



編集後記

広報誌「あじさい」も発行8年目を迎え、沢山の教職員や学生のご協力をいただき、記念すべき10号をだすことができました。今までも学科の閉科や学校名の変更等ありましたが、この4月より学生定員は70名になり、学年担任制からラテ・サポート体制へと変更し、また新たなスタートを切りました。まだまだ戸惑うことも多いですが、学年の垣根を越え皆が協力しあつて学んでいけるよう強く願っております。

これからもこの「あじさい」が、皆様にとくさんの情報を提供することができるよう、努めていきたいと思っております。

図書司書兼教務事務 福井美和

第103回 看護師国家試験合格率

国家試験合格率	
本校	全国平均
98.3%	95.2%



あじさい 第10号
発行日 平成26年7月10日
発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会
神戸看護専門学校
発行責任者 林 美栄子
印刷所 有限会社 河里盛広館